

COMEBACK 女子柔道プロジェクト

「柔フェス ～レディーGO～」実施報告書

1. 日時：12月8日（日）午前10時から午後零時まで（講習会）
午後1時から同3時まで（交流会・実技）
2. 場所：三友エンジニア体育文化センター（上山体育文化センター）
〒999-3241 山形県上市市けやきの森2番1号
3. 講師
 - (1) 川原 久乃 氏
埼玉県立武道館勤務
埼玉県柔道連盟理事・女子柔道振興委員会委員長
 - (2) 丸野 瞳 教諭
羽黒高等学校女子柔道部 顧問
4. 参加人数
 - (1) 講習会：小学生6名、中学生15名、高校生31名、成人24名、計76名
(託児8名)
 - (2) 交流会：小学生16名、中学生24名、高校生36名、成人23名、計99名
(親子で参加の子供10名、託児2名)
5. 事業効果
COMEBACK 女子柔道プロジェクトを通して
 - ・県内女性柔道家の交流が増えた。
 - ・県内各地区の情報交換の場になった。
 - ・引退後の女性柔道家の環境づくりの一環になった。
 - (1) 講習会
「女性と柔道」というタイトルで、女子柔道の成り立ちから現在までの移り変わり、女子柔道の歴史の講習をしていただきました。
 - ・女子柔道普及に尽力してこられた方、女子柔道を支えてくれた方の紹介、女子柔道の活躍、たくさんの方の支えによって現在の女子柔道につながっているのだと大変勉強になりました。
 - ・女子柔道の知っておきたい人物や生涯柔道を実践する尊敬する女性柔道家たちでは同じ女性という立場や母として、また、自分の得意とする分野を活かしてこれまでの常識に関係なく生き生きとしている方たちを知り、勇気が出た気がする。
 - ・歴史については勉強する機会がないため、初めて聞く話が多く良かった。などの感想をたくさんいただきました。（アンケートから抜粋）
他県の女子柔道普及の取り組みなども聞くことができ、山形県でも取り組める活動を

積極的に取り入れ普及活動に力を入れていきたいと感じました。

時代が移り変わり障害者柔道、LGBT 問題様々な課題に対応していくことがこれからの柔道普及、柔道界には必要だと感じさせられた講習会でした。

講習会参加者には、これからの柔道生活や人生に役立てて行って今、私たちに出来ることを後世にもたくさん残して行ってほしいと思います。講師の川原久乃先生には大変感謝申し上げます。

(2) 交流会・実技

礼から始まり準備体操、ACP（アクティブ チャイルド プログラム）、乱取りと盛りだくさんでしたが、あっという間の 2 時間で楽しく汗をかくことができました。昨年引き続き講師の先生はじめ練習参加者が全員女性という 2 回目の催しとなり、今回は小学生から参加していただき各年代の壁を越えての交流会は楽しかったとの声を沢山いただきました。小学生と高校生の乱取りは普段できない交流、練習となり小学生にとっては新鮮で将来の目標になったのではないのでしょうか。高校生にとっては普段はライバル同士だが、ACP などを取り入れていただき笑顔で練習ができたとの声をいただきました。講師の川原久乃先生は午前中に引き続き、丸野瞳先生は昨年引き続き忙しい中楽しい交流会を考えてくださりありがとうございました。

終わりに

今回「COMEBACK 女子柔道プロジェクト～レディーGO～」開催にあたり県柔道連盟の皆様、女性委員の皆様、講師の先生方、参加者の皆さん等たくさんの方の協力をいただきました。慣れないことが多く準備に手間取ったことが多かったのですが、皆様のおかげで無事終了することができました。

このプロジェクトを通し、年齢関係なく女子柔道の輪が広がり、柔道人口減少対策に少しは役立てたのではないのでしょうか。今回の参加者が将来指導者や審判員となり柔道発展に少しでも貢献していただけたらと期待をします。

全日本柔道連盟女子柔道振興委員の皆様には、このような機会を与えてくださり心より感謝申し上げます。

